

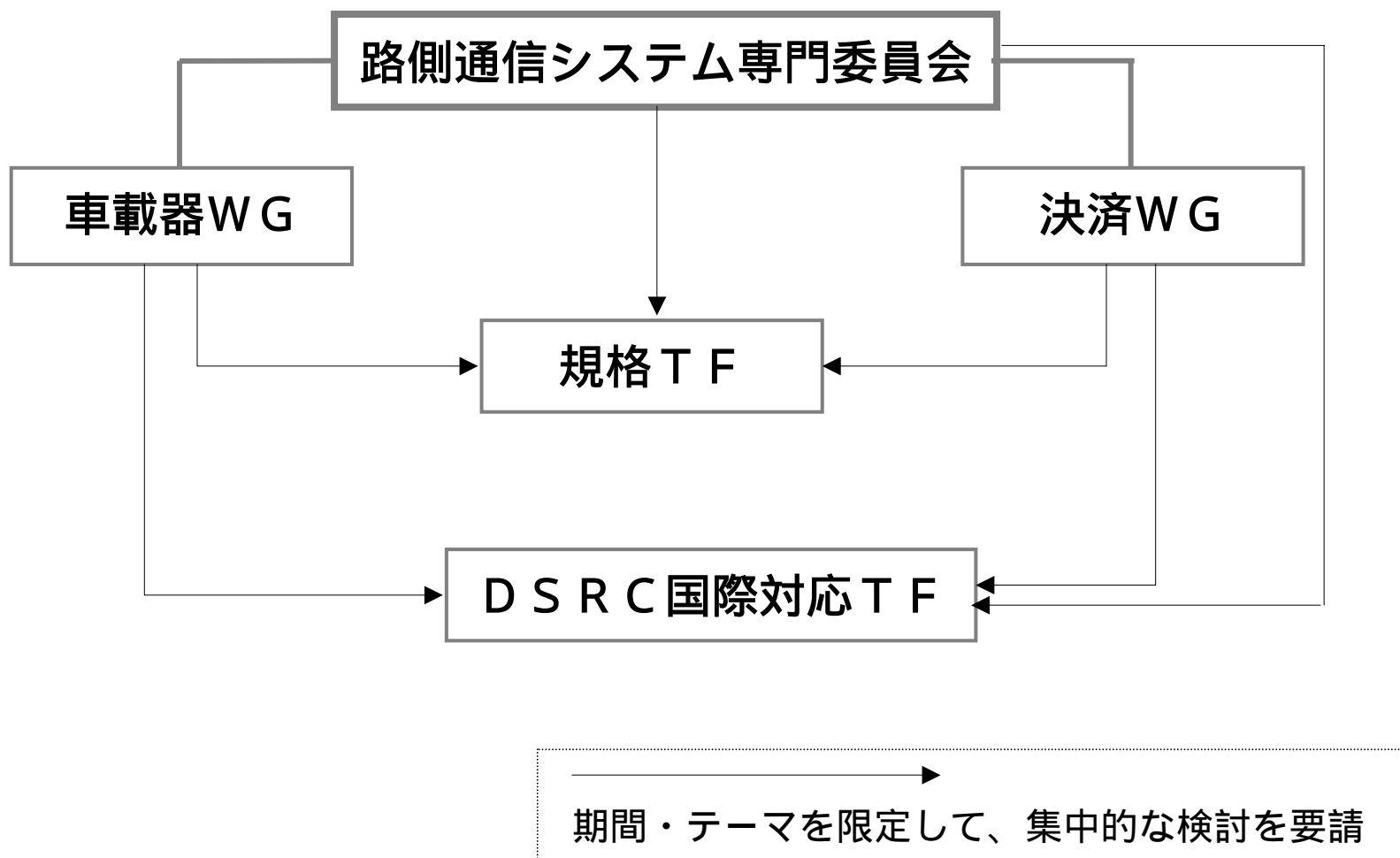
路側通信システム専門委員会

- 平成13年度の活動報告及び14年度の活動計画 -

路側通信システム専門委員会
田村 成美

1 . 検討体制

路側通信システム専門委員会は、2ワーキング並びに2タスクフォースで構成されている。両タスクフォースは、専門委員会又はワーキングからの要請を受けて検討を行っている。



2 . W G / T F の活動内容

車載器WG

【主な活動内容】

- ・ 車載システム構成の検討
- ・ マルチアプリ対応車載器について共通化すべき項目の検討
- ・ 共通化項目の内容検討
- ・ 共通化に向けた活動体制および日程案

決済WG

【主な活動内容】

- ・ 狭域無線決済の前提条件の整理
- ・ 利用者端末、無線区間、店舗端末のセキュリティ要件の検討
- ・ 利用者端末の形態の整理
- ・ 狭域無線決済の運用に関する要件の検討

規格TF

【主な活動内容】

- ・ ARIB STD案の作成：ARIB STD T-75 (Ver.1.0)が策定された
- ・ 相互接続性の検討：ARIB STD TR-T16 (Ver.1.0)が策定された
- ・ ARIB STD T-75 Ver.1.0の修正審議：継続中
- ・ アプリケーションサブレイヤの検討：継続中

DSRC国際対応TF

【主な活動内容】

- ・ ASTM DSRC TF¹審議資料²の分析とコメント入力

1以下の8TFで構成

Architecture Security LowerLayer UpperLayer LayerManagement
Vehicle to Vehicle communication Early Adopter Application
Industry Consortium or forum

2フィールド試験結果、バンドプラン、L1ドラフト等

- ・ 韓国との意見交換（7/10-11,12/9）

【標準化動向】

- ・ 北米（ASTM）：IEEE802.11a/RA-OFDMに方式決定（2001/8 El Segundo）
- ・ ITU-R/SG8：ITU-R M1453改訂勧告案 郵便投票（2001/11 Geneva）
- ・ ISO/TC204/WG15：L7、リソースマネージャの国際標準化
（L7はP-Memberによる委員会ドラフトの2ヶ月投票）

3 . 報告書について

以下の成果物を中心として今年度の活動を纏めた。

- 1) ARIB TR-T8改訂案
- 2) 車載器WG報告書
- 3) 決済WG報告書

なお、今年度取り纏めを予定していた、「端末路側機器の形状概観モデルイラスト」「携帯電話との一体型端末、ネットワーク接続方法」に関しては、システムを導入する事業者や機器供給する製造業者が、その際の事情や状況に応じて決定していくべきものであり、専門委員会としての提言および検討は控えた。

また、「共同実証実験検討書」に関しては、現時点で検討・取り纏めの予定はないが、必要となった時点で、検討・取り纏めを行っていく。

4 . 開催状況

済み 予定

H14.3.31現在

項目	平成13年									平成14年			摘要	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
会 議	ITS情報通信システム推進会議													
	総会・運営委員会		18 29											
	研究開発部会・調査部会合同部会		20											
	部会長・専門委員長会議		17					21				25		
	路側通信システム専門委員会													
	専門委員会					31	(電子) 10		(電子) 1					26
	主査会議							(電子) 5						
	検討ワーキング/アドホック													
	走行支援アドホック(H12/11以降WG)													
	セキュリティアドホック(H12/4以降WG)		20	25	26	26								
	DSRC国際対応タスクフォース	11	25	14	5 24	6 21	10 27	16	15,29	26	17	13	15	
	規格WG(H13/10以降TF)	16	11 29	12 29	6,13,18,26	29	14 28	30	19	21	21	18	18	
	DSRC普及促進WG	3												
	決済WG									12	24		6	
	車載器WG									25	22	8	8	
イ ベ ン ト	その他													
	APT技術研修	9-13											25-29	
	ISO/TC204標準化連絡会議													
	ITS情報通信システムシンポジウム		29										28	
報告書														

開 連	ASTM 5.9GHz DSRC Task Force	19,20	15-17	26,27	26,27	23,24		30-1	4-6	22-24	20-22	20-22	
	日・北米・韓DSRC協調会議				10								
	ASTAP会議	3-5			10,11		15	30-2				25-29	
	ISO/TC204関連	24,25	30-6/1	26	9	22	20,21	8-10	12-14				
	ITU-R/SG8/WP8A							22-30	5,6				
ITS世界会議							30-10/4(#8シドニー)						

5 . 平成14年度の活動計画

来年度の路側通信システム専門委員会の検討テーマを「実用化への最終検討」としたい。
この検討テーマを分類化すると、以下のようなものが考えられる。

継続して検討すべきテーマ

車載器で共通に必要な規格の検討

決済の要件を満たす規格の検討

マルチアプリ対応の規格（ A S L ）の検討 等

新規に検討すべきテーマ

情報提供アプリに関する検討

走行支援システムに関する検討 等

他の専門委員会と協調して検討すべきテーマ

既存社会システムとの協調に関する検討

コンテンツ記述形式の統一など、プラットフォーム化すべき項目に関する検討 等

検討体制および実施

上記検討テーマを現行の体制で検討するが、必要に応じて体制を変更するなど柔軟に対応する予定である。新体制へ移行する場合には、従来通り主査会議等で新体制案を検討し、路側通信システム専門委員会で承認を得ることにより移行する。